

#### 第4問

- (2) 当工場では、実際個別原価計算を採用している。次の〔資料〕にもとづいて、6月の製造原価報告書を完成させなさい。

〔資料〕

(1)

製造指図書番号	直接材料費	直接労務費	直接作業時間	備 考
# 10	1,600,000 円	980,000 円	700 時間	5/ 6 製造着手 5/25 完成 5/31 在庫 6/ 2 販売
# 11	100,000 円 (5 月分) 320,000 円 (6 月分)	56,000 円 (5 月分) 168,000 円 (6 月分)	40 時間 (5 月分) 120 時間 (6 月分)	5/20 製造着手 5/31 仕掛 6/ 4 完成 6/ 8 販売
# 12	700,000 円	336,000 円	240 時間	6/ 6 製造着手 6/10 一部仕損 6/18 完成 6/22 販売
# 12-2	50,000 円	84,000 円	60 時間	6/11 補修開始 6/14 補修完了
# 13	800,000 円	448,000 円	320 時間	6/20 製造着手 6/28 完成 6/30 在庫
# 14	80,000 円	42,000 円	30 時間	6/28 製造着手 6/30 仕掛

なお、# 12-2 は仕損が生じた # 12 を補修して合格品とするために発行した指図書であり、仕損は正常なものであった。

- (2) 製造間接費は、直接作業時間を配賦基準として各製造指図書に予定配賦している。年間の製造間接費予算額は 11,520,000 円、年間の正常直接作業時間は 9,600 時間である。6 月の製造間接費実際発生額は、968,000 円であった。